

## 第4回伊勢原市男女共同参画プラン策定委員会 会議録

〔事務局〕 人権・広聴相談課

〔開催日時〕 令和5年2月10日（金曜日）午前9時30分～午前11時45分

〔開催場所〕 伊勢原市市立図書館 会議室

### 〔出席者〕

（委員） 和田委員、川畑委員、紫牟田委員、早川委員、片伯部委員、丹野委員、山崎委員、石委員 8名

（事務局） 人権・広聴相談課長、ほか2名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

### 〔配付資料〕

資料1 第3次伊勢原市男女共同参画プラン（案）のパブリックコメントの実施結果について

資料2 第3次伊勢原市男女共同参画プラン（案）

### 《審議の経過》

#### 1 議題

(1) 第3次伊勢原市男女共同参画プラン（案）のパブリックコメントの実施結果について

・資料1について、事務局より報告した。

(2) 第3次伊勢原市男女共同参画プラン（案）の修正箇所について

・資料2について、事務局より説明し、章や施策の方向ごとに協議した。

(3) その他

・事務局より、今後のスケジュールについて説明した。

※主な意見・質疑の内容は別紙のとおり。

以上

議題（１）第３次伊勢原市男女共同参画プラン（案）のパブリックコメントの実施結果について

【主な意見】

● 1つ目の意見に関して、「定義することは難しい」と言い切るのではなく、「意欲や興味・関心のある人に参画してほしい」と言った表現を加えてはどうか。
● 2つ目の意見に関して、市の監査などはすごく細かく見ているので、「市がきちんと見ている」ということを、市の考え方へ明記しても良いと思う。
● 3つ目の意見に関して、生活保護は外国人の受給が生活保護法の「準用」という形で可能であるし、アイヌの方はどこにでもいるし、どこにいるか分からないため、意見をくださった方の認識を変えるような回答ができると良い。 また、「共生」という文言を入れるなど、ダイバーシティの視点を入れた、考え方全体の枠を作っておくと良いと思う。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	1つ目の意見に関して、事務的なスキルやリーダーシップを養成する啓発講座などを実施していけると良いと思うが、事務局の考えは？	今年度も、県主催のリーダーシップ養成講座などを共催して実施をしている。 今後も、実施していきたい。

議題（２）第３次伊勢原市男女共同参画プラン（案）の修正箇所について

ア 第１章

【主な意見】

● 「４ 第２次プランの目標値の達成状況」が、第３次プランの各目標値より前に掲載されると、数値の違いが混乱を招くように思う。冊子の最後のあたりに、第２次プランの実施状況を参考資料として掲載してはどうか。
● 「４ 第２次プランの目標値の達成状況」の「７-(１) 子宮がん・前立腺がん検診の受診率の割合」が、なぜ全体の検診受診率ではなく、この２つに特化したかが分かりづらい。表の中にも、「性別特有の疾病として」という文言を入れた方が分かりやすいと思う。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	子宮がん・前立腺がん検診の受診率について、県内自治体と比べると、どのような状況か。	前立腺がんは、実施が法律で義務づけられていないため、国や県で集計をしていません。 子宮がんは、県で集計を行っており、平成３０年度のもので最新の公表値です。(別添のとおり)

## イ 施策の方向1 男女共同参画の理解の促進

### 【主な意見】

- 主な事業へ、新たな試みとして、「男女共同参画に関する調査・研究体制の構築」を加えたが、各施策への関連性が薄い。各施策のそれぞれの事業へ、影響を及ぼすような記載ができないか。また、それぞれの事業が影響を受ける文言にはできないか。

## ウ 施策の方向2 あらゆる分野における女性の参画・活躍の推進

### 【主な意見】

- 目標値の(2)に関して、男性リーダーの割合の多いところが女性に変わることで、新しいアクションなどが期待できる。成功事例を提示して、啓発していけると良い。

### 【質疑応答】

No.	質問	回答
1	目標値の(2)に関して、PTAは役員に女性が多い。役員も含めて女性の割合を見ることはできないか。	役員全体では女性が多いが、会長になると男性の割合が多くなってしまいうことに改善が必要であるため、会長のみとしている。

## エ 施策の方向3 男女が働きやすいワークスタイルの創造

### 【主な意見】

- 主な事業の「市役所における働きやすい職場づくりの推進」に関しては、市の取組が中心かと思うが、市内の事業主として、事例を発信し啓発をしてもらうような表現が良い。工夫したことや具体策などを出して、「これならできそう」と市民が思えるようにしてほしい。

## オ 施策の方向4 家事・育児・介護を男女で共に担う環境の充実

### 【主な意見】

- 目標値の(1)に関して、第2次プランの目標値より大幅に下がった目標設定となっている。新型コロナウイルス感染症の影響があったことは理解できるが、下がることは良くない。あくまで目標であるので、第2次プラン並みの設定にしてはどうか。
- 主な事業として、家事・育児・介護に関する啓発や情報提供をする事業を並べているが、対象者のストレス等に関する相談窓口や支援がない。特に、妊娠直後などには、助産師や保健師などの専門家に相談できるようなところがあると良い。
- 主な事業に関して、男性と女性の妊娠に対する意識のズレを解消するような事業があると良い。妊娠初期に教室に参加して意識を改めることで、その後の夫婦の話し合いなどもやりやすくなると思う。
- 主な事業に関して、育児・介護に対するちょっとした困りごとを聞いたり、愚痴が言えたりするようなサロンのような場所づくりが必要ではないか。

カ 施策の方向5 心身の健康支援と男女の性差に関する理解の促進

【主な意見】

●検診に関連して、子宮頸がんワクチンについて、周知・啓発方法やそのタイミングが重要と思うので、きちんと取り組んでもらいたいため、今後の取組などを整理しておいてもらいたい。
●主な事業の「市役所のハラスメント防止対策」に関しては、施策の方向3の「市役所における働きやすい職場づくりの推進」と同様に、事例を発信し啓発をしてもらいたい。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	目標値の(1)に関して、検診の受診者は、市で受診券を配布して、使用した人の割合という認識で良いか。 個人で病院等にて受診している人は、把握できているか。	こちらの受診率は、市の検診のみであるため、受診券を配布して、使用した人の割合という認識で良い。 個人の受診については、把握が難しいと思う。

キ 施策の方向6 あらゆる暴力の根絶

【主な意見】

●若者に対する啓発や支援が、全体的に少ないように思う。「あらゆる暴力」の中に「デートDV」の記載がないため、追記してもらいたい。
●DVに限ったことではないが、対象を限定されていると相談しづらいと感じる。「女性相談」のような、対象の広い相談窓口自体や名称になると良い。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	「DV相談」は、DVに限定した相談窓口か。 自分が受けている行為をDVと思わない人も多いため、DVに限定しない相談窓口を設置できないか。	現在の「DV相談」は、DVに限定した相談窓口である。 担当課では、今後、施策の方向7に記載した「包括的支援体制整備事業」を実施し、ワンストップ窓口を設置する予定のため、すみ分けができると良いと思う。

## ク 施策の方向7 困難を抱えた人に対する支援

### 【主な意見】

●市の相談窓口は、対象が分かれている。どこに相談したら良いか分からない、また、ちょっとした困りごとを相談しても良いのかも分からない人が多い。男女共同参画の視点で「女性なんでも相談」と言った、困りごとがはっきりしていない人に向けた窓口があると良い。
●「外国籍市民等相談窓口」が設置されることは、とても良い。すでに導入している自治体の事例や問題点を研究して、より良いものにしてほしい。特に子どもは、在留資格によってその後の人生が変わってしまうこともある。どんな人をどんな形でサポートするかを考えて、相談員を設置してほしい。設置時期を事業内容欄に明記してほしい。

### 【質疑応答】

No.	質問	回答
1	ヤングケアラーについては、どこの窓口で相談したら良いか。	「子ども・若者相談」や「教育相談」などに相談してもらおうと良い。 ケアラーの年齢に応じた窓口で相談してもらおうと、必要に応じて関係部署に繋がる。
2	「外国籍市民等相談窓口」の設置時期はいつか。モデルとして考えている近隣自治体はあるか。また、外国人はどのくらいいるか。	設置は、令和6年度の予定。 県内の外国人の多い自治体を参考にできればと考えている。 本市はベトナム人の割合が多く、外国人全体で3,000人程度、だいたい人口の3%程度になるかと思う。

## ケ プラン（案）全体について

### 【主な意見】

●若者に対する啓発や支援が、全体的に足りないように思う。制度的にも抜けてしまう世代である。事業を加えることは難しいかもしれないが、各事業の担当課へ、配慮してもらおうよう周知してもらいたい。
--